

平成30年第5回（9月）  
西原町議会定例会  
一般質問通告

質 問 日	質 問 議 員		
10月10日(水) 2人	① 宮 里 芳 男	② 与那嶺 義 雄	
	※ 一般質問終了後、休会		
10月11日(木) 5人	③ 宮 里 洋 史	④ 大 城 誠 一	⑤ 仲 松 勤
	⑥ 上 里 善 清	⑦ 大 城 純 孝	
10月15日(月) 5人	⑧ 長 浜 ひろみ	⑨ 与 儀 清	⑩ 真栄城 哲
	⑪ 伊 計 裕 子	⑫ 前 里 光 信	
10月16日(火) 4人	⑬ 喜 納 昌 盛	⑭ 崎 原 盛 秀	⑮ 屋比久 満
	⑯ 伊 集 悟		

# 一般質問通告内容(平成30年 第5回定例会)

質問者	① 宮里芳男 議員	質問の相手
1. 道路行政について	<p>(1) 県道浦添西原線について 平成30年8月29日に中部土木事務所、西原町土木部より坂田ハイツ検討委員会へ進捗状況の説明がありました。ほとんど前進していない説明でした。 ア. その後中部土木事務所との話し合いは行われたか イ. 現在の進捗状況を伺います。</p> <p>(2) 県道那覇北中城線について現在の進捗状況を伺います。</p> <p>(3) 西地区の総合計画はどの程度進んでいるか。</p>	町長
2. 平成30年西原町議会議員選挙について	<p>平成30年9月9日の西原町議会議員選挙について ア. 総予算を伺います。 イ. 投票率の低下についてはどの様に総括されたか伺います。 ウ. ポスター用掲示板は34カ所にありましたが、設置場所はどの様な規定により設置されているか伺います。</p>	選管委員長
3. 小学校のブロック塀について	<p>西原町内4小学校でブロック塀が不適合と新聞で報道されています。 ア. どの小学校か伺います。 イ. 今後の対策を伺います。</p>	教育長
4. 「ゆいレール」について	<p>平成30年9月19日「ゆいレール」の東海岸への延伸に向けた「西原町民総決起大会」が行われ、多数のご参加を頂き大変盛り上がりました。大会決議案も採択されました。 ア. 今後の日程(スケジュール)について伺います。</p>	町長

質問者	② 与那嶺 義雄 議員	質問の相手
1. 町議会特別委員会報告書の西原町ホームページへの掲載について	<p>西原町のホームページに9月14日付で、「災害時避難所施設建設中止・(株)西原ファームの債権放棄問題調査特別委員長報告」が掲載されている。町議会のホームページではなく、なぜ行政が議会の報告書をあえて町のホームページに転載・掲載したのか違和感を覚える。</p> <p>(1) 町議会議長の許可を得ての掲載なのか。</p> <p>(2) 問題の二つの案件で、町財政がひっ迫するなか合計6,000万円の税金の無駄遣いが発生した。当然、町独自の検証、調査報告書が提起されるべきだが、その取り組みはなされているのか。</p>	町長
2. 認可外保育所の認可に伴う在園児保障について	<p>町内の認可外保育所「こぼと保育所」は、40年近くにわたり、独自の保育理論・(斎藤公子保育)で町内外の幼児保育に貢献してきた。その特徴は、卒園まで一切の文字や数字教育を避けて、“心とからだ”の成長をはぐくみ、さらに発達障害の改善にも効果的な保育を実践している。そのすごさは、次年度の在園児48名のうち32名が町外在住園児の数字からも見て取れる。認可施設の移行に際しての、国・県の方針は“保育認定を受けた場合は、継続利用に配慮することが望ましい”。また、自治体の垣根を超えた“保育施設の広域利用について、自治体間で協定を結ぶ等の方針”が示されている。</p> <p>(1) 町外在園児は4年後には2名にとどまり、経過措置として保護者や行政(町や県)の協議を踏まえ、在園時の継続保育が実現できる方策はないだろうか。</p>	町長
3. こどもの貧困対策事業について	<p>(1) 西原町が現在取り組んでいるこどもの貧困対策事業について、その事業と実施状況及び課題について説明を求めたい。</p> <p>(2) 次年度以降の、小中学生の就学援助事業は現在の水準を維持できる仕組みとなるのか、お聞きしたい。</p>	町長

4. 町行財政改革について	<p>現行の、単年度予算編成に伴う緊急的な行財政改革では、先行き歳出削減も限界点に達し泥沼に陥る。大胆な行政のスリム化によって歳出額も減少し、収支のバランスが改善できる。その意味でも、抜本的な財政健全化計画の策定が不可欠だ。</p> <p>(1) 当面の緊急的な措置として職員給与や議員報酬の削減は避けられないと考えるが、町長の見解をお聞きしたい。</p> <p>(2) 中期的は健全化対策として、①学校給食の民間委託②各種行政施設の指定管理制度への移行③窓口業務の民間委託④事務事業の平準化を図るための現行の係制からチーム制への移行⑤行政の事務事業の移譲を目的としたNPOの育成、を提案したい。住民や専門家を交えた協議機関を立ち上げ、本格的な行財政改革案の策定と実施する考えはないか、お聞きしたい。</p>	町長
質問者	③ 宮里洋史 議員	質問の相手
<p>1. 交通について</p> <p>2. 公共施設の活用</p> <p>3. 夏休みについて</p>	<p>小那覇交差点を県道から海へ向かう道を国道へ右折する際、青矢印がなく危険に感じるが、当時の信号機設置の調査と現在の道路交通状況はどうか。今後信号機を変える可能性について伺う。</p> <p>現在、公共施設を民間が管理・活用することが主流となってきた。公共施設の活用の中で企業広告としてネーミングライツは県内でも多くみられるようになった。西原町においても募集してはどうか。町民体育館や陸上競技場等々できると思うが見解を伺う。</p> <p>夏休み学校プール開放等行っていたと記憶しているが現在の状況を伺う。</p>	町長

<p>4. 行財政改革</p> <p>5. 町興し</p>	<p>厳しい財政状況について、平成31年度の予算編成状況はどうか。乖離額はどれほど出ているか伺う。</p> <p>(1) 町議選挙で町民からは「西原をもっと盛り上げてほしい。行事が少ない」との声が多数あった。やはり祭りは毎年開催し、地域の子どもからお年寄りまで、企業と連携を取りながら、各種団体の祭典としても行うべきだと思う。財政難という話ではなく、寄付金の範囲内や町民を巻き込んで手作りで行うこともできると思うが町長の見解を伺う。</p> <p>(2) ふるさと納税について総務省の方針では3割以内となっている。西原町の返戻率はどうか。また商品ラインナップはどこが担っているのか。こういった商品は提示できないのか。</p>	
<p>質問者</p>	<p>④ 大 城 誠 一 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 町財政の健全化について</p> <p>2. ごみ焼却場の一元化について</p>	<p>(1) 平成30年度は、一般会計予算編成に苦慮し、福祉や教育面に切り込んでいる。平成31年度以降の予算編成も厳しい状況にある。町財政の健全化計画の策定についての取り組みをどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 国民健康保険赤字解消の取りくみはどのように進めていくのか。</p> <p>南部広域行政組合は糸豊環境美化センターと東部清掃施設組合2か所の焼却施設を一元化し、2027年度に新炉を供用開始する計画を進めている。18年度から用地選定を含めた建設計画に着手するとある。進捗状況等について聞きます。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>3. 安全な通学路の整備について</p>	<p>兼久・東崎線街路整備事業については、兼久交差点から西原小学校横断歩道前までの通学路の歩道が狭隘のため、自動車が歩行者（児童）を避けるよう通行している状況が見受けられ危険である。</p> <p>(1) 安心安全を確保するために、歩道わきの修得済みの用地を仮舗装する等整備を要する。</p> <p>(2) 横断歩道は、安心安全を確保するために、カラー塗装を行う等の整備を要する。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 農水産物流通加工観光拠点施設について</p>	<p>農水産物流通加工観光施設整備事業は、造成工事がスタートしているが、一括交付金の特別枠がまだ認められていない。</p> <p>(1) 特別枠は、承認を受けることは可能か見解を聞く。</p> <p>(2) 特別枠が受けられない場合の建設予算をどのように考えているか。</p> <p>(3) 指定管理者との契約は締結したのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 待機児童解消について</p>	<p>平成30年3月議会において、年度当初の待機児童人数については、平成29年度33名から、平成30年度は158名となり125名の増となっていて、増加要因は各保育園で保育士不足によるとの回答であった。</p> <p>(1) 保育士不足の状況は、公立保育所は定員に対して必要としている保育士数から3名不足、認可保育園合計で17名の不足となっているとのことであった。改善ははかられたのか。</p> <p>(2) 保育士定着の策は、西原町保育連と合同で発足した会議で保育士確保等の対策を検討して行くとのことであった。改善ははかられたのか。</p> <p>(3) 保育士確保についてどのような策があるのか。</p>	<p>町 長</p>

質問者	⑤ 仲 松 勤 議 員	質問の相手
1. 町民参画の町づくりについて	<p>現在の西原町におきましては、経済格差はもちろんのこと、子どもの貧困を始め、高齢者を含めた福祉や年金、さらには医療など地域社会全体に関連する環境が様々に移り変わり、さらなる財政難で不安や不信感の声が聞こえています。こういった状況を打破するためにも、町政は危機感をもって多くの問題に取り組む必要があります、またそれらは常に町民目線、生活目線で臨んでいく姿勢であることが重要であると考えます。</p> <p>「真の文教のまち西原」に向け、計画的な行政財政改革の必要性が問われております。まちづくりにおいて町民などの参画を促進することは、町民自らが知恵や汗を絞り、関心の高い課題を見つけ、学び、経験を活かしながら政策の提案や問題への取り組みを考える機会となり、ひいては町民自身の地域への愛着や誇りを醸成することに繋がります。さらに、文教のまちといった地の利を活かし、大学との連携によるまちづくりを進めることで質の高いまちづくりが可能となります。町民、事業者、大学、行政等が協働で築く個性豊かなまちとする為にも総合計画の策定は重要であると考えます。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 西原町の総合計画は、何次政策が最終となっており、また今現在までどれくらいの期間、総合計画がない状態で町政は進められてきたか。また、弊害はないのか。</p> <p>(2) これまでの総合計画においての意義はあったかどうか。</p> <p>(3) 是非、次なる総合計画の策定への取り組みを求めたいが今後その予定はあるか。またその場合は、町民の参画意識を取り入れた総合計画を持ち上げることは可能であるか。</p>	町 長
2. MICE 振興に関する施策の展開、大型 MICE 施設及び受け入れ環境の整備について	<p>(1) 都市マス（一部改訂別冊）によると、「最大4万㎡規模の展示スペースを有する大型 MICE 施設について、2017年度までの事業着手、2020年度中の運用開始を目指し、関係機関・市町村との調整を進め、整備に向けて着実に取り組む」という文言と「MICE 設置の整備に併せて、良好な情報通信環境や円滑な移動インフラの確保、宿泊施設や商業施設の集積等、国際的なビジネス環境の質の向上を図る」とが記されており、これらが MICE の整備基本</p>	町 長

	<p>計画であると認識しています。お尋ねします。</p> <p>ア. 西原町として MICE 建設推進の為の行動計画はあるか、また今現在どの段階にあるか。</p> <p>イ. MICE 建設が進まない理由はなにか。</p> <p>ウ. 町道 45 号線（産業通り）の県道への格上げと、同時に同幹線への国道 329 号線バイパスの延伸連結促進の現状はどのような状況か。</p> <p>(2) 将来都市構造において MICE をとりまく関係機関・市町村となる西原町、与那原町、中城村及び北中城村を経て、中部都市圏に至る東海岸は、大型 MICE 施設及びそれに関連する機能を配置するとともに豊かな骨格の緑を保全しつつ、リゾート性を高めた自然環境と共生する空間の形成を促進する必要があると考えられています。お尋ねします。</p> <p>ア. 西原町・与那原町・中城村・北中城村は合併することによる地域振興の可能性示唆されますが、合併促進の必要性についての見解はどうか。</p>	町 長
<p>3. 西地区区画整理事業の推進について</p>	<p>(1) どのような事業計画であるか、その期間・予算・面積・商業地や宅地の種類はどうなっているか。</p> <p>(2) 地域住民や地権者との課題や問題点はなにか、またその解決策は。</p>	町 長
<p>4. 西原町の子ども達の教育環境づくりについて</p>	<p>(1) 今回の予算削減の内容とは。</p> <p>(2) その解決策は何か。</p> <p>(3) 予算が削減された中において、西原東小学校の改築を早急に進めてほしいとの町民の声があるが、実現可能か。小学校の校舎及び体育館の耐久度や危険性、安全性はどの程度か。</p> <p>(4) 子ども達の予算減額と関連し、給食費の増額決定はどのように推移しその額はいくらか、また町民から公約違反ではないかとの声も上がっているがそのことについての見解を伺いたい。</p>	教育長

<p>5. 株式会社農業生産法人西原ファームの債権放棄と農産物直売施設（西原町農水産物流通、加工、観光拠点施設整備事業）の運用展開について</p>	<p>(1) 株式会社農業生産法人西原ファームの債権放棄について、その経緯・責任・その後の対応を改めて明白に説明して頂きたい。</p> <p>(2) 農業は他の産業に比べ収益性が低い産業であると立証されており、西原ファームも倒産したが、農産物直売施設の建設は着工されている現状がある。しかしながら近隣に大型スーパーが健在している現状に加え、新たな大型スーパー店舗の設置も計画実行されている。加えて MICE 設置に伴う農業地から商業地や宅地化（都市化）へ移行していく西原町において、農産物直売施設は有効に地産地消特産品として町民への供給・需要を満たすか。また都市マスとの整合性はあるか。</p> <p>(3) 着工中の農水産物流通・加工・観光拠点施設の指定管理者は JA 西原とのことだがその根拠は。</p> <p>(4) 建設費用の最終予算はどの程度を見積もるか、財源は何か。</p> <p>(5) 運用稼働後の収支計算はどのように推移計算を想定しているか。</p>	<p>町 長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑥ 上 里 善 清 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 行財政改革について</p>	<p>(1) 厳しい財政状況を打開するためにも行革は必要であり避けられません。行政改革計画を立てるべきだと思いますが、どう考えているか伺います。</p> <p>(2) 事業再開（スクラップ&amp;ビルド）の実行計画。</p> <p>(3) 住宅地増加策の計画。</p> <p>(4) ふるさと納税の目標と行動計画。</p>	<p>町 長</p>

2. MICE施設について	<p>東海岸発展の起爆剤として期待しているMICE施設ですが、県と国の調整が難航したままで、現在の状況がどうなっているのか心配しています。現状はどのようになっているのか伺います。</p>	町 長
3. 道路行政について	<p>(1) 兼久十字路にマックスバリュー店が11月にオープン予定になりました。地域活性化に寄与するもので歓迎しております。しかし、東崎兼久線の整備が遅れており心配しております。その原因と開通の予定はいつごろなのか伺います。</p> <p>(2) 県道 155 号線の小波津・池田の三叉路は、小波津団地からの見通しの悪さ及び優先道路のスピード超過が多く、危険個所となっています。信号機の設置を要請できないか伺います。</p>	町 長
4. 環境改善について	<p>字翁長 920-65 に沿った水路の壁面に大きな木が繁茂し、大量の蚊が発生し困っているとのこと。土木課に相談したが、いまだ改善されておられません。町管理の水路であり早急に対応できなか伺います。</p>	町 長
5. コミュニティーバス運行について	<p>核家族化が進み人間関係が希薄化する中、特に高齢者の病院又は買い物の用事のための交通手段が少なく、困っている人が増えております。一括交付金を活用し、西原町を巡回する観光を含めたコミュニティーバスの運行を実施できないか伺います。</p>	町 長

質問者	⑦ 大城 純孝 議員	質問の相手
1. 西原町のこれからの町づくりについて	<p>(1) 平成 30 年、今、西原町の置かれている状況はM I C E施設の東海岸（西原・与那原）への誘致決定後、進捗が進んでいないように思うが町長はどのように考えているのか伺います。</p> <p>(2) 9 月 19 日モノレールの東海岸への延伸に向け「西原町民総決起大会」が催されました。今後は町としてどのように要請をしていくのか伺います。</p> <p>(3) 他にも本町の課題が多くあると思いますが、一番目に取り組みをするのはどの課題か伺います。</p>	町 長
2. 財政について	<p>(1) 平成 30 年度の一般会計予算については財政難の為削減が実行されて、施行状況がきびしくなっていると思うが、次年度の編成はどのような取り組みをしていくのか伺います。</p> <p>(2) 財政状況ヒアリングをどのようにとらえているのか伺います。</p>	町 長
3. 大型M I C Eエリアの土地利用の見直しについて	<p>(1) 大型M I C E周辺部の土地利用の見直しの進捗の状況はどうでしょうか。</p> <p>(2) スケジュール的に何年度までに完了するのか伺います。</p>	町 長
4. 都市基盤整備について	<p>(1) 兼久交差点においては大型の商業施設が 11 月中に完成予定です。そこで今、兼久交差点やその周辺部の交通渋滞が予想されます。早く兼久・東崎線の供用、交差点の改良を進める必要が有ると思いますが、本町としてどのように取り組んでいるのか伺います。</p>	町 長

<p>5. (株) 西原ファームについて 他、農水産物流通・加工・観光拠点施設について</p>	<p>(2) 西地区区画整理事業について、今モノレール前田の駅が来年の開業に向けて工事が進められています。本町の西地区区画整理事業も県道 38 号の新しい路線になると思います。現状はいつごろ整地に入るのか伺います。</p> <p>(1) 債権を町が放棄した後の西原ファームの状況を伺います。</p> <p>(2) 農水産物流通・加工・観光拠点施設の進捗状況について伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑧ 長 浜 ひろみ 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 選挙について</p>	<p>(1) 選挙時の違法掲示物の撤去について</p> <p>(2) 選挙管理委員会の役割</p>	<p>選挙管理委員長</p>
<p>2. ゆいレールの延長について</p>	<p>(1) 9 月 19 日開催「ゆいレール」の東海岸への延伸に向けた西原町民総決起大会のその後の行動計画を伺う。</p> <p>(2) モノレール事業と浦西駅周辺に連動した本町の街づくり西地区区画整理事業関連もあるのか伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 保育行政について</p>	<p>(1) 待機児童の状況と課題を伺う。</p> <p>(2) こぼと保育園の認可保育園移行にともなう、父母の在園時保障の具体的な内容とは。</p> <p>(3) 本町が実施している他市町村への入園児童の手続き方法を聞く。</p>	<p>町 長</p>

<p>4. 教育行政について</p>	<p>(4) 小規模保育事業の課題を伺う。</p> <p>(1) 子供の通学路となっているが横断歩道のない道路の安全確保について</p> <p>(2) 沖縄県教育委員会が公立幼稚園や小中 高校、特別支援学校のブロック塀の調査を実施した結果、ブロック塀のある 438 校のうち約 68.5%に当たる 300 校の 917 カ所で建築基準法に適合しないと考えられる塀があったと発表。本町は具体的な調査は実施したか伺う。</p> <p>(3) 通学路と保育所、公共施設における安全性と安全確保のための対策について</p> <p>(4) ICT教育について  ア. 電子黒板の利用状況を聞く。  イ. 2020 年度から小学校で「プログラミング 教育」が必修化されるが、それに向けての取り組みを伺う。  ウ. 厚労省などの調査によると、わが国では中高生 52 万人にゲームを含めたインターネット依存の恐れがあると推計されているが、本町の子ども達の実態は調査されているのか、そしてまたこれからどのように対応していくのか伺う。</p> <p>(5) 子どもたちの重すぎるランドセル問題について、小学校における現状と教育委員会の見解を伺う。</p>	<p>教育長</p>
<p>5. 高齢者福祉について</p>	<p>高齢者など災害時に配慮が必要な人たちが安全に避難できる体制づくりの進捗を問う</p>	<p>町 長</p>
<p>6. 児童虐待について</p>	<p>厚労省によると、全国 210 カ所ある児童相談所 が 2017 年に児童虐待の相談や通告を受けて対応 した件数が 13 万件に上っているとのことだが、本町での現状と対策を伺う。</p>	<p>町 長</p>

質問者	⑨ 与儀清議員	質問の相手																		
1. 今回の町議会選挙について	<p>(1) この秋の統一地方選挙において、近隣の沖縄市、北谷町、読谷村、北中城村などにおいて、違法なポスターやのぼり、横幕の設置を自粛する動きが出た。本町においても9月9日執行の町議会議員選挙においては、7月30日に開いた立候補予定者への説明会の中でクリーンな選挙を目指す旨、参加者全員が自粛に署名した。しかしながら、沖縄市、読谷村、北中城村、本町においても投票率は過去最低との事である。この相反する結果に対する見解をお聞きしたい。</p> <p>(2) 今選挙における年代別の投票率を教えてください。</p> <table data-bbox="478 840 1173 996" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>10代</td><td>%</td><td>20代</td><td>%</td><td>30代</td><td>%</td> </tr> <tr> <td>40代</td><td>%</td><td>50代</td><td>%</td><td>60代</td><td>%</td> </tr> <tr> <td>70代</td><td>%</td><td>80代以上</td><td></td><td></td><td>%</td> </tr> </table> <p>(3) 32行政区の中で、投票率のベスト5、ワースト5行政区はどこか。また、それぞれ何%か。</p> <p>(4) 今回の選挙において、32自治会の中に選挙ポスター掲示場の設置場所のない所があるというが、どこか。その理由は。</p> <p>(5) 選挙運動用通常はがき800枚がもらえるはずが告示後のため、とても間に合わない。改善は可能か。 ちなみに、本町の町議会議員選挙において選挙郵便を利用しないのは何人。はがき利用は何枚。</p>	10代	%	20代	%	30代	%	40代	%	50代	%	60代	%	70代	%	80代以上			%	選管委員長
10代	%	20代	%	30代	%															
40代	%	50代	%	60代	%															
70代	%	80代以上			%															
2. 学校給食について	<p>(1) 平成29年4月から給食費を500円値上げした訳であるが、栄養のあるバランスのとれた充実した給食になっているのか。また、学校給食費の徴収状況は値上げ後変化はないか。滞納率は何%か。金額にしていくらか。</p>	教育長																		

<p>3. 火葬場建築について</p>	<p>(2) 最近、小学校では食べ残しが多いと聞くが、残量調査は行なっているか。行なっていれば、本町小学校4校の残量率を伺いたい。</p> <p>(3) 学校給食における子どもたちの好きなメニューベスト5と嫌いなワースト5の料理は何か伺いたい。</p> <p>これは、今や私のライフワークでありまして、今回の“2期目の挑戦”の中でも、私の目標で「火葬場の建設の推進」を入れている訳でありまして、何度も言っておりますが、火葬場がないのは本島では、宜野湾市、中城村、北中城村と本町の4市町村だけであります。いつまでも他人様の施設に頼っている場合ではないと思うのであります。現在の火葬場建設問題の現状を伺いたいと思います。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑩ 真 栄 城 哲 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 平成31年度予算編成、財政健全化について</p>	<p>(1) 平成30年度も半年が過ぎ、現在、平成31年度予算編成に向けて、査定が行われています。</p> <p>本町は、今年度時点で107億円の借金を抱え、ピークとなる平成33年度は、115億円に膨れ上がるとされています。以下の件について、伺います。</p> <p>ア. 現在時点の歳入歳出の乖離は、どの程度ですか。</p> <p>イ. 歳入歳出の乖離をどの様に埋めていくのか、具体的な内容を伺います。</p> <p>ウ. 先の6月定例会で予算復活した、就学援助は、財源が未確定のままです。その財源と制度見直しの進捗状況を伺います。</p> <p>エ. 財政が厳しい中、町民の生活に直結する保育・福祉・教育に関するサービスの低下が懸念されますが、現状と見通しについて伺います。</p>	<p>町 長</p>

	<p>(2) 財政健全化にむけて、事業仕分けのプロジェクトチーム等を立ち上げ、財政健全化に向けて取り組むべきと提案して参りました。それについて、6月定例会で副町長から15名で構成される行政改革委員会で、事業仕分けの役割も担えるのか。具体的な内容について詰めているとの答弁がありました。以下の件を伺います。</p> <p>ア. 現在予算編成の段階となりましたが、どの様に取り組んで行くのか、具体的な内容を伺います。</p> <p>イ. 少しでも経費を抑えられるよう、公共事業の発注もある程度まとまった額で発注するべきだと考えますが、どの様な努力をしていますか。</p>	
<p>2. 新たな財源確保について</p>	<p>(1) 今年度より本格始動した、ふるさと納税も半年が経過し、年末に向けて繁忙期を迎えようとしています。新たな税収が中々見つけられない中、当然必死になって取り組まなければならないと思います。以下の件を伺います。</p> <p>ア. 具体的な取り組み(商工会やポータルサイトとの連携)や返礼品の開発を伺います。</p> <p>イ. 取り組みの中で問題点等は生じてないか伺います。</p> <p>(2) 他自治体に先んじて、人口を増やす具体的な施策の必要性を議論してきました。本町も将来的には、人口が減少するとデータでも示されています。無策のままでは、税収が減少してしまいます。</p> <p>実行すべき施策を伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 西原町地域活性化対策事業運営補助業務について</p>	<p>(1) 本業務は、公募型プロポーザル方式で発注されました。以下の件について伺います。</p> <p>ア. この業務は、西原町の観光に資するものと理解しますが、具体的な事業目的と内容について伺います。</p> <p>イ. 昨年度策定された観光振興計画との関連性を伺います。</p>	<p>町 長</p>

質問者	⑪ 伊 計 裕 子 議 員	質問の相手
1. 平和行政について	<p>去る9月19日は、戦後初めて海外での武力行使を可能にした安保法制＝戦争法が国会で強行されてから3年目の日である。安倍政権は、北朝鮮の核開発や弾道ミサイル発射などを最大の口実として戦争法を推進していたが、朝鮮半島の激変により、こうした前提が崩れている。それにもかかわらず、防衛省は北朝鮮について「これまでにない重大かつ差し迫った脅威」と強調し、来年度概算要求では過去最大規模の5.3兆円もの軍事費を要求している。国民の中では、この間の国政私物化、民意を無視した数々の暴走政治に対する怒りと批判が深く広がる中で、20日の自民党総裁選で安倍氏が3選され、改憲に執念を持っている。このように、平和が脅かされるような情勢に対して町長の認識、見解を伺う。</p>	町 長
2. 「町民アンケート」にもとづく西原町への要請についての回答に対して	<p>日本共産党西原支部が行った「町民アンケート」にもとづいて西原町に対して11点の要請を行い、回答をいただいた。その中の二点について伺う。</p> <p>(1) 「教育・医療・福祉予算を減らさないこと」への要請に対して、「関連予算の中で特に扶助費については、年々増加し平成19年度から29年度の10年間で19.4億円増加しており今後も増加傾向にある。最優先に確保しているが、役目を終えたものや国、県が補助を打ち切ったものについては、見直しを検討していかなければ、町の財政運営は立ちいかなく恐れがあるため、慎重に検討を行っていく。併せて国・県に対しても財政支援の継続を訴えていきたいと考えている。」旨の回答であった。</p> <p>ア. 10年間で19.4億円増加し、今後も増加傾向にある扶助費は、具体的にどのようなものか。</p> <p>イ. 役目をおえたものや国、県が補助を打ち切ったものとは、どのようなものがあるのか。</p> <p>ウ. 財政支援の継続を訴えるには、活用している町民と力を合わせる必要があるかと思うが、どのようなことを考えているのか。</p>	町 長

	<p>(2) 「子どもたちの通学路の安全対策を強めること」の要請に対して、「毎年1回、4小学校、教育総務課、土木課の3者合同で、『西原町通学路合同点検』を実施しており、今年度は警察を含めた4者合同で、防犯の視点も加えた合同点検を実施している。また、町が出している『安全・防災マップ』を基に各小学校で、各校区ごとに危険箇所を示した安全通学路マップを作成、配布し子どもたちへの周知を図っている」との回答であった。</p> <p>ア. 合同点検実施後、どのような対応を行っているのか。</p> <p>イ. 危険箇所の子どもたちへの周知は大切だと思うが、それだけでは、子どもたちの安全を守ることができないこともあるのではないか。町民から通学路の危険なブロック塀に不安がある。対策をとってほしいとの声が寄せられた。合同点検では、ブロック塀の危険性は確認できたのか。</p>	
<p>質問者</p>	<p>⑫ 前里光信議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 町行政について</p>	<p>(1) 西原町は沖縄県内では長寿の町であると思います。そこで100歳を超えた高齢者は何人おられるか。男性、女性別々に答えてもらいたい。その方々は今、病院に入院中なのか、または老人ホーム等に生活しておられるのか。それとも自宅で生活している方もおられますか。</p> <p>(2) 西原町全体で一人暮らしの高齢者はどの程度おられるか。又、その対応について町当局や地域の自治会等はどのようなことを実施していますか。</p> <p>(3) 国民健康保険で入院治療していて最高入院費が1ヶ月いくらかかっているか、病名と入院費の全額をベスト5まで示して下さい。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

	(4) 最近西原町で自死した例があれば示して下さい。	町 長
	(5) 町道建設現場に住宅があり、その移転について交渉中の家が何軒あるか。また、その交渉内容はどのようなものか。相手が納得出来てない理由の主なものは何か。	町 長
	(6) 西原町の公共下水道事業の実状について質問します。接続可能世帯はどれ程で現状はどうなっているか。	町 長
	(7) 平成 30 年 9 月 9 日に執行された西原町議会議員選挙について質問します。 ア. 年令別の投票率について イ. 行政区別の投票率について	町 長
	(8) 去る 9 月 2 日に実施された町陸上競技大会の町民参加についてどう分析しているか。又、競技者の記録はどうか。	教育長
	(9) 町内の住民でオレオレ詐欺にあった者がいるか。いたとしたらどのような内容か。	町 長
2. 教育行政について	去る 3 月に町内 2 中学校を卒業した方々の進路はどうなっているか。進学者、就業者、それぞれについて数字で示して下さい。	教育長

質問者	⑬ 喜納昌盛議員	質問の相手
1. 統一地方選挙、県知事選挙について	<p>(1) 9月9日投票の統一地方選挙は、のきなみ投票率が下がった。西原町においても前回から3.28ポイント低下し、56.5ポイントに終わった。</p> <p>ア. この西原町の結果をどう考えるか。 期日前投票者数は増える傾向にあるが、投票率は伸びない。政治に期待できない、しないのか、無関心なのか。ある意味、主権者意識の低下、民主主義の危機すら感じ、危惧するが改善の方策は見いだせるか。</p> <p>イ. 18歳以上から投票権を有することになったが、西原町の該当者数、投票率はどうであったのか。</p> <p>(2) 新しい県知事に対する西原町のまちづくりについての町長の意見や要望は、どのように考えていますか。</p>	町長
2. 町政全般について	<p>(1) 次年度に向けた事業計画、予算編成は、実行計画のローリングに向けた各課の事業実績、課題等の集約を含め、今現在の状況、そして今後の見通しは。</p> <p>(2) 棚原上原地区土地区画整理事業の清算業務の現状は。</p> <p>(3) 「海外移住者子弟研修生受入事業」の現況は。</p>	町長

質問者	⑭ 崎原盛秀議員	質問の相手
1. 大型MICE施設の整備推進について	<p>2015年5月22日に翁長沖縄県知事は大型MICE施設を核とした東海岸地域の振興と県土の均衡ある発展を目指し西原町、与那原町にまたがるマリンタウン地区に建設決定の記者会見をおこないました。この大型MICE施設は言うまでもなく西原町の将来を展望する起爆剤として、あるいは本県東海岸地域の発展を促す起爆剤として大いに期待が寄せられております。しかしながら国からの交付決定が今日まで得られず多くの町民の皆様から大型MICE施設の早期整備を望む声が日々寄せられております。この大型MICE施設整備事業の遅れは西原町の土地利用計画の進捗にも影響を与え将来の西原町の発展にも直結する重要な課題だと考えております。その様な中、去る9月19日には西原町まちづくり推進協議会をはじめ西原町・西原町議会・西原町行政区自治会長会・西原町商工会の共同主催による「ゆいレール」東海岸への延伸に向けた町民総決起大会が、さわふじ未来ホールで開催され、多くの町民の皆様が会場を埋め尽くし「マリンタウン地区へのゆいレールの早期延長」に向け機運を高めることが出来た大会であったと考えております。</p> <p>そこで大型MICE施設事業及び関連事業について伺います。</p> <p>ア. 大型MICE施設整備事業は県事業であることは承知致しておりますが交付決定に向けて沖縄県と連携し西原町・与那原町あるいはサンライズ推進協議会と国への要請活動等、交付決定に向けた機運を高める様な行動がこれまでなされたのか。</p> <p>イ. 第1ステージのマリンタウンエリア周辺の事業計画の進捗状況について。</p> <p>ウ. 第2ステージのマリンタウン背後地の都市計画見直しの進捗状況について。</p> <p>エ. ゆいレールのマリンタウン地区への早期延伸についての今後の展開について。</p>	町長

<p>2. 小波津川河川の早期整備について</p>	<p>小波津川河川は平成11年9月の台風18号で床上78戸、床下58戸の甚大な浸水被害が発生し抜本的な治水対策が必要とことから平成14年2月26日に県の2級河川として指定され、平成15年度から県の整備計画に基づき事業推進が図られている事は私も認識致しております。</p> <p>しかしながらご承知の通り河川整備工事が現在も継続中であるため今日でも台風や集中豪雨の度に河川氾濫を起こし、特に平園ハイツを中心に冠水による浸水被害が相次ぎ小波津川河川の早急な整備完成を望む声が高まっております。</p> <p>そこで小波津河川整備事業並びに関連事業について伺います。</p> <p>ア. 小波津川河川整備事業及び小波津川南・北線道路整備事業（庁舎から河川河口まで）の進捗状況及び完了予定について。</p> <p>イ. 河川・道路事業の進捗遅れの主な要因について。</p> <p>ウ. 小波津川河川の冠水後の清掃・後片付け等、町からの支援取り組みについて。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑮ 屋比久満議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. ゆいレールの東海岸延伸とMICEについて</p>	<p>去る19日「ゆいレール」の東海岸への延伸に向けた「西原町民総決起大会」が盛大に開催され町民の関心の高さがうかがえました。町民の一人として嬉しく思いました。その前提として大型施設MICEの建設工事に着手しなければ、ゆいレールの延伸はできないと思います。そこで以下について質問します。</p> <p>(1) MICE工事に関する沖縄県の予算措置の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 県から、MICE着工時期の説明があったのか伺う。</p> <p>(3) ゆいレールが延伸された場合、県の事業で実施する予定との事ですが、確認します。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 農水産物流通・加工・観光拠点施設について</p>	<p>今年2月で、指定管理者の公募が終了し、JAおきなわ1社しか応募がないという説明がありましたが、以下について質問いたします。</p> <p>(1) 現在、指定管理者JAと契約は締結したのか伺う。</p> <p>(2) 8月から基礎工事が始まっていますが、業者名と、工事落札額を伺う。</p> <p>(3) 住民への説明資料では、工事費総額は13億円との事であるが、議会では14億以上掛かると説明があったが、その差異を伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 安心・安全な地域づくりについて</p>	<p>去る、大阪の地震で学校プールの塀が壊れ落ちて児童が亡くなっています。これは人災であります。美咲区公民館前に、西原児童館があるが、そこの外灯が切れて、暗くて危険であると言う事で、自治会から以前に要請したと言う事です。暗くて事件や事故が発生した場合、西原町の責任になります。地域の安心・安全を守るのが町の責任だと思います。以下について質問します。</p> <p>(1) 児童館の外灯の球は、何時から切れているか伺う。</p> <p>(2) 長期に球切れを放置しているのは何故か伺う。</p> <p>(3) 工事見積もりはとったのか、見積額を伺う。</p> <p>(4) その間で、万が一事故や事件があった際の責任はどこにあるのか伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>4. 教育行政について</p>	<p>西原町は、小学校、中学校でなぎなたが強く沖縄県で名を馳せています。それは何故か。指導者はボランティアで幼少期から支えているからであります。敬意を表します。また、西原東中の校庭には、なぎなた全国一になった記念碑が建立されております。以下について質問します。</p> <p>(1) 町内の小中学校では、PTA会費から派遣費等が徴収されているのか伺う。</p> <p>(2) 徴収されているのであれば、金額を伺う。</p>	<p>教育長</p>

	<p>(3) 本町において、児童生徒の県外派遣に関するメニューを伺う。</p> <p>(4) スポーツ、文化的活動について補助額を伺う。</p>	
質問者	⑩ 伊 集 悟 議 員	質問の相手
1. 子どもたちの成長を一番に応援する町づくりについて	<p>沖縄県においては、子どもたちの3人に1人が貧困の状況に置かれていることは周知のとおりです。また、経済的に困窮した世帯が世代間に連鎖し、固定化してしまっていることも大変深刻な状況です。</p> <p>家庭環境や経済格差が教育格差や学歴格差を生み、所得格差、経済格差につながり、負の連鎖ができあがっている状況を断つためにも、子どもたちがどのような家庭環境にあっても、生きる力の根っこである基礎学力を身につけるためのしっかりとした教育支援を施す必要があると思います。</p> <p>しかしながら、西原町は、財政難を理由に、就学援助や登校支援員、学習支援員、ALT（外国語指導助手）など、直接間接に負の連鎖を断つために必要かつ有効な支援や事業を減らしていこうとしていることは大変残念であります。保護者や学校現場のあちこちで不満や落胆の声が広がっています。</p> <p>長年、文教の町を標榜してきた西原町です。財政が厳しい状況であっても、未来ある子どもたちのための予算は、他の事業や予算よりも、最優先すべきだと思います。</p> <p>町長の見解を伺います。</p>	町 長
2. 子どもたちの教育支援について	<p>(1) 学力向上について</p> <p>毎年実施されている全国学力・学習状況調査、いわゆる全国テストですが、西原町の子どもの学力状況は、小学生においては、県平均のみならず全国平均も上回っており、力をつけていると認識しています。</p>	教育長

<p>3. 不登校の対策について</p>	<p>中学生においては、県平均は超えて、県内でも上位に位置しており、全国平均に届いていない状況と認識しています。それらをふまえて、伺います。</p> <p>①小学生時には全国平均を超えて、力を発揮してきた子どもたちが、中学生では、大きく力を落としてしまっている。なぜこのようなことに至るのか、原因や課題は明らかになっているか。</p> <p>②原因や課題について、学校現場との共通認識は図られていると思いますが、その対策について、具体的にどのような取り組みをしているか。</p> <p>③対策や取り組みは、どのような成果をあげているか。</p> <p>(2) 中学生の民間学習塾の利用について</p> <p>①中学生になると定期テスト対策や受験対策で学習塾に通う生徒も増えてきます。そこで保護者の負担も増えてきます。西原町の中学生の学習塾の通塾率はどれくらいの割合か。保護者の月額平均負担額はどれくらいか。</p> <p>②家庭の経済事情で塾へ通えない生徒も一定数います。その生徒の直接支援として、保護者負担の軽減を図るために、中学校2校に夜間の無料学習塾を設置してはどうか。</p> <p>財源として、学推協（西原町地域ぐるみ学力向上推進協議会）の予算や学校支援地域本部を活用した近隣大学の学生や退職教員などのボランティアを活用する方法はどうか。</p> <p>町内の小中学校においては、さまざまな理由で不登校や行き渋りの児童生徒が一定数おり、県平均よりは少ないとはいえ、課題となっています。昨年度までは、登校支援員が学校や担任と連携しながら、子どもたちを支援してきましたが、今年度、町内小中6校の登校支援員が廃止されております。それをふまえて伺います。</p> <p>(1) 県派遣のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの支援だけで十分で、登校支援員は必要ないとの認識なのか。</p>	<p>教育長</p>
----------------------	--	------------

## 4. 待機児童対策について

(2) 不登校や行き渋りの児童生徒の教育を受ける権利を満たし、学校復帰の支援するために「適応指導教室」の設置が急務だと思いますが、いかがか。

待機児童問題の解決に向けて、さまざまな取り組みや対策がなされていると思います。保育事業の現状の知るために伺います。

(1) 保育園児 1 人にかかる保育費用と保護者負担及び公費負担について

年齢	園児1人にかかる費用	保護者負担保育料(平均)	西原町の負担(公費)	国・県の負担(公費)	公費合計
0歳児	円	円	円	円	円
1歳児	円	円	円	円	円
2歳児	円	円	円	円	円
3歳児	円	円	円	円	円
4歳児	円	円	円	円	円
5歳児	円	円	円	円	円

(2) 入所定員の拡大や保育士の確保、待遇改善なども喫緊の課題として必要ですが、思うように待機児童解消が進んでいない状況では、保育ニーズを減らしていくという、新たな待機児童解消の施策の検討も必要だと思います。家庭育児を希望する世帯は一定数います。家計のためにパートに出て、そのために保育所に子どもを預ける。それに対して、その収入以上に公費が使われている現状がもしあるならば、家庭育児を選択する家庭に「在宅育児手当」という新しい子育て支援策を導入することによって、待機児童を減らしていくということも研究、検討すべきだと思いますが、いかがか。

<p>5. 学校を核とした地域づくりについて</p>	<p>学校現場にはさまざまな問題、課題があり、複雑化しています。学校や先生方だけでは、解決できないことも多くある中、西原町でも学校・家庭・地域の協力・連携がさまざまな形で進んでいますが、今ある学校の目標や課題に対して、共に一定の責任と権限を持って目標の達成や問題解決が図れるような関係が望ましいと思いますが、まだそこには至っていないと思います。</p> <p>そこで、文科省が平成17年度に導入し、29年度に設置が努力義務化されたコミュニティ・スクール(学校運営協議会)を6校に導入することで、より進化した本来の地域連携の学校経営が進められると思います。</p> <p>現在、沖縄県で50校ほどしか設置されていませんが、文教の町、西原町として、学校を核とした地域づくりの良きモデルとして、機能させることができるとは思います、いかがか。</p>	<p>教育長</p>
<p>6. 町民目線の事業チェック(事業仕分け)について</p>	<p>財政難の状況の中、税金の使い道の中に、ムダや非効率があってはならないと思います。行政の業務は、民間企業とは違い、収益を目的としないものが多いため、不要不急の事業を抑制したり、業務の効率化を図る努力やコスト削減の意識も低くなりがちといわれています。予算を使い切ってしまうと翌年度の予算が減らされてしまう単年度主義の慣習から予算獲得と予算消化が目的化、優先されてしまう体制はないでしょうか。</p> <p>この財政難を乗り切るにあたり、執行部、議会、町民も当事者として、行財政改革を前進させる必要があります。</p> <p>予算のムダを省き、事業の効率性をアップさせるためにも、職員の意識改革と事業立案能力の向上、町民の行政参画意識の向上が必要だと思います。そのためにも町民参加・納税者目線による西原町の事業チェック(事業仕分け)の実施が必要だと思いますが、いかがか。</p>	<p>町長</p>